分!	野:器官系統病態的	学										
	科目 相 和目 Cardiology	•		DM_1417 区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)					
担当	教 授	准 教 授	講師	助 教	客	員教授・その	数授・その <u>他</u>					
1												
ちば	◎中村 文隆	天木 幹博		吹野 恵子								
溝口	◎速水 紀幸 (病院教授)	鈴木 伸明	白鳥 宜孝	西出 征司								
	循環器病学	I (1年次)	循環器病学	Ⅱ (2年次)	循環	器病学Ⅲ (3	年次)					
	単位 4単位 酉			2年·通年 2年·通年	単位 4単位 配当年次 3年・通年							
概要	昨今の医学の進歩に したあるいは細分化さようになっているのが理 総合内科医として全般 の向上を図りながら領 を目指し、循環門的知 錬を行う。 循環器領域の重要な 要事項について一人 要事項について一人 一の実別をが結果の が、操作および結果の 行う。	より、より疾患に特化れた医療が行われる見状である。 見状である。 设的な内科診療能力環器専門医資格取行 環器専門医資格取能に でのさまざまな病態に 後の取得と技術の鍛 テーマ、診療上の必 等別でである。心エ ついて実でに携わ 解釈について演習を	1年時に引き続き、総的な内科診療能力の器専門医資格取得を資格取得をの取得と技術の鍛錬を循環器領域の重要な循環器領域の重要な可心に、負責をできる。 一の実習を対して、自動をできる。 一の実習を教して、自動をできる。 一の実習を教して、自動をできる。 が結果の行う。 循環器領域の専門的 ンターベンション・ペーシアーテルアブレーシアーテルアブレーシアでである。	合内科医として全般 向上を図りながら循環 目指し、循環器領域 応できる専門的知識 を行う。 テーマ、診療上の必 的学習を行う。心工 ついて実のととも 解釈について演習を 治療技術(心血管イ スメーカ植え込み・	番号では異常取得を目指し、循環番関吸のさまざまな病態に対応できる専門的知識の取得と技術の鍛錬を行いつつ、基礎的臨床的研究を行うことのできる能力を修得する。 循環器領域の重要なテーマ、診療上の必要事項について理論的学習を行う。運動負荷心電図、負荷心筋シンチグラム、心エコーの実習を教員について実臨床で行う。心臓カテーテル検査にスタッフとともに携わり、操作および結果の解釈について演習を行う。							
到達目標	①循環器診療に経済を遂行で器を適くのにはいる。②循環器診療にを遂行環路を動力を動力を認めている。②循導等ののは、近半のでのでのでのでは、近半のでのでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近半のでは、近れでは、近れでは、近れでは、近れでは、近れでは、近れでは、近れでは、近れ	て必要な診断と治療 できる。 な基本的診察技術できる。 な基本的検査技術電図・ホルター心・心電図・心心できる。 ・胸部単純X線・心・・ ・胸部単純X線・心・・ ・間部単純X線・心・・ ・間部単純なできる。 ・に必要な検査技術心できる。 ・に必要な検査技術心ではできる。 ・にの電図・運動負行の ・できる。 ・でできる。 ・にのできる。 ・にのでは、でできる。 ・にのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	査・経食道心エコー図で施行あるいは読影で ②循環器領域の専門インターベンション・ペカテーテルアブレーシれかを経験し、その適る。 ③循環器疾患に関連解する。 ④ 卒前教育、卒後教育を指導的立場で担	レ検査・電気生理学検引)を指導医の管理下できる。 引的治療技術(心血管ペースメーカ植え込み・マンなど)のうちいずにか意義を説明できまする臨床薬理学を理す、コメディカルの教	を含む心臓カテーテル検査・電気生理学検査・経食道心エコー図)を指導医の管理下で施行あるいは読影できる。 ② 循環器領域の専門的治療技術(心血管・インターベンション・ペースメーカ植え込み・カテーテルアブレーションなど)のうちいずれかを経験し、その適応や意義を説明できる。 ③ 循環器診療に際して、倫理的事項や医療安全上の諸問題への対処が指導的立場							
事前事後学修	①日本循環器学会診 / AHAガイドライン、E で理解すること。②鶴 ついては、手技の目的 の詳細をシミュレーター 解しておくこと。 1回の授業に対して、 30分程度が必要であ	SCガイドラインを読ん 他的検査や治療に り・手順・合併症など 一などにより事前に理 予習・復習それぞれ		る原著論文を渉猟す 予習・復習それぞれ	* 専門領域の実技講習会、ライブデモンストレーション等に参加し、知識の充実とトラブルシューティングについて学ぶ。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。							
価	実技の評価を口頭試 講義、演習の評価は (20%)、リアクションペ	受講態度(20%)、発表	勉強会での発表のレ 受講態度(50%)を評価		実技の評価を口頭試問にて行う(50%) 学会、研究会発表に際しての準備や内容 (50%)を評価する							

## ■主な演習(講演・実習含む)

0.1/ <b>(</b> )	П (М171)	, , , ,																								
循環器病学 I (1年次)								循環器病学Ⅱ(2年次)									循環器病学Ⅲ(3年次)									
	曜日		:		$\sim$		:			曜日		:		$\sim$		:			曜日		:		$\sim$		:	
	曜日		:		$\sim$		:			曜日		:		$\sim$		:			曜日		:		~		:	
	曜日		:		$\sim$		:			曜日		:		$\sim$		:			曜日		:		$\sim$		:	
月	曜日	13	:	00	$\sim$	16	:	00	火	曜日	18	:	00	$\sim$	19	:	00	月	曜日	9	:	00	$\sim$	10	:	30
冠動脈造影の見方						心臓カテーテルカンファランス								循環器病態学												
火	曜日	17	:	00	$\sim$	18	:	00	木	曜日	13	:	00	$\sim$	17	:	00	木	曜日	9	:	00	$\sim$	17	:	00
循環器内科チャートラウンド					心血管インターベンション								冠動脈インターベンション													
水	曜日	15	:	00	$\sim$	16	:	00	金	曜日	13	:	00	$\sim$	14	:	00	土	曜日	9	:	00	$\sim$	11	:	00
心臓カテーテル検査							心臟	核图	医学科	食査				弁	圣胸壁•	経食	道心	ンエニ	一半	引読演	習					
月	曜日	9	:	00	$\sim$	12	:	00	月	曜日	9	:	00	$\sim$	12	:	00	月	曜日	9	:	00	$\sim$	12	:	00
冠動脈造影の見方					冠動脈インターベンション								冠動脈インターベンション													
水	曜日	9	:	00	$\sim$	12	:	00	水	曜日	9	:	00	$\sim$	12	:	00	水	曜日	9	:	00	$\sim$	12	:	00
電気生理学検査判読														不整脈の治療												
木	曜日	15	:	00	$\sim$	16	:	00	木	曜日	15	:	00	$\sim$	16	:	00	木	曜日	15	:	00	$\sim$	16	:	00
循環器病態学						循環器病態学									循環器病態学											
	月火水月水木	循環 曜日 曜日 日 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜	循環器が 曜日 曜日 曜日 月曜日 13 ※ 曜日 17 が曜日 15 ・ 心臓カ 月曜日 9 ※ 冠動川 水曜日 9 ※ 冠動川 水曜日 9 ※ 電気生 木曜日 15	循環器病学 曜日 : 曜日 : 曜日 : 曜日 : 曜日 : 『曜日 : 『記動脈造 火 曜日 17 : 『循環器内科チ 水 曜日 15 : 『心臓カテー 月 曜日 9 : 『記動脈造 水 曜日 9 : 『電気生理学 木 曜日 15 : 循環器	循環器病学 I (曜日 : 曜日 : 曜日 : 曜日 : 曜日 : 『曜日 : 『曜日 : 『曜日 : 『四日 :	循環器病学 I (1年曜日 : ~ ~ で で で で で で で で で で で で で で で で で	循環器病学 I (1年次) 曜日 : ~ に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	福環器病学 I (1年次) 曜日 : ~ : : : : : : : : : : : : : : : : :	循環器病学 I (1年次) 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 『曜日 : ~ : 『曜日 : ~ : 『理日 : ~ : ~ : 『記載 : ~ : ~ : ~ : 『記載 : ~ : ~ : ~ : ~ : ~ : ~ : 『記載 : ~ : ~ : ~ : ~ : ~ : ~ : ~ : ~ : ~ :	福環器病学 I (1年次) 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 『曜日 : ~ : 『曜日 : ~ : 『理日 : ~ : [ ] (00 大 ) (00 大	イ	<ul> <li>循環器病学 I (1年次)</li> <li>曜日 : ~ : 曜日</li> <li>月曜日 : ~ : 曜日</li> <li>次動脈造影の見方 心臓カテー 小臓カテー 小臓カテー 水曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 木曜日 13 心臓カテーテル検査 小臓 で調査がある できます できます できます できます できます できます できます できます</li></ul>	<ul> <li>循環器病学 I (1年次)</li> <li>曜日 : ~ : 曜日 : </li> <li>月 曜日 13 : 00 ~ 16 : 00 火 曜日 18 : </li> <li>元動脈造影の見方 心臓カテーテ/火 曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 木 曜日 13 : </li> <li>循環器内科チャートラウンド 心血管インタ 水 曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 金 曜日 13 : </li> <li>心臓カテーテル検査 心臓など 小臓カテーテル検査 小臓など </li> <li>月 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 月 曜日 9 : </li> <li>冠動脈造影の見方</li></ul>	福界病学 I (1年次) 循環器病学 II (曜日 : ~ : 曜日 :	イ は で は で で で で で で で で で で で で で で	循環器病学 I (1年次)	福景器病学 I (1年次)	循環器病学 I (1年次)	福環器病学 I (1年次) 福環器病学 II (2年次) 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 『曜日 : ~ : 月曜日 13 : 00 ~ 16 : 00 火曜日 18 : 00 ~ 19 : 00 月 一を動脈造影の見方 火曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 木曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 木 循環器内科チャートラウンド 水曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 金曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 土 心臓カテーテル検査 月曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 月曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 月 一を動脈造影の見方 水曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 水曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 月 一を動脈造影の見方 水曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 水曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 水 電気生理学検査判読 木曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 木曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 木 循環器病態学	循環器病学 I (1年次)	<ul> <li>循環器病学 I (1年次)</li> <li>曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日</li> <li>曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日</li> <li>曜日 : ~ : 曜日</li> <li>月曜日 13 : 00 ~ 16 : 00 火曜日 18 : 00 ~ 19 : 00 月曜日 9</li> <li>が動脈造影の見方</li> <li>が臓カテーテルカンファランス</li> <li>水曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 木曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 木曜日 9</li> <li>循環器内科チャートラウンド</li> <li>水曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 金曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 土曜日 9</li> <li>心臓カテーテル検査</li> <li>月曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 月曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 月曜日 9</li> <li>が臓なテーテル検査</li> <li>月曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 月曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 月曜日 9</li> <li>元動脈インターベンション</li> <li>元動脈を受検査</li> <li>水曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 水曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 水曜日 9</li> <li>電気生理学検査判読</li> <li>木曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 木曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 木曜日 15</li> <li>循環器病態学</li> </ul>	循環器病学I (1年次) 循環器病学II (2年次) 循環器病学 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 :	循環器病学 I (1年次)   循環器病学 II (2年次)   循環器病学 II (2年次)   曜日 : ~ :   曜日 : ~ :   曜日 :	循環器病学 I (1年次)   循環器病学 II (2年次)   循環器病学 II (3年曜日 : ~ :   曜日 : ~ :   曜日 : ~ <   ※   ※   ※   ※   ※   ※   ※   ※   ※	循環器病学II (1年次)   循環器病学II (2年次)   循環器病学II (3年次)   曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~   曜日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : ○   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □   日 : □	循環器病学I (1年次)

## 教科書·参考書

個別に指定する。

## その他履修上の注意事項

講義・演習・実習の詳細については個別に案内します。 外部での検査や治療の研修も適宜考慮される。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関 副科目 循環器以外の内科学など関連領域を1科目以上 連 科 目 共通科目 循環器病学特論

## 関連する専門医資格

認定内科医・総合内科専門医(日本内科学会)循環器専門医(日本循環器学会)インターベンション認定医・専門医(日本心血管インターベンション治療学会)脈管専門医(日本脈管学会)植え込み型徐細動器管理医ペーシングによる心不全治療管理医(日本不整脈学会)不整脈専門医(日本不整脈学会)

